

第7次保健医療計画における医療圏について

1 現在の医療圏設定状況

- 一次医療圏（市町村）
健康相談、健康管理、疾病予防や日常的に多発する一般的な疾病への対応等、住民の日常生活に密着した保健医療サービスが行われる区域
- 二次医療圏
主として入院医療サービス、広域的な保健医療サービスが行われる区域
- 三次医療圏（大阪府全域）
先端的な技術や高度な医療機器等を利用した特別な保健医療サービスが行われる区域

2 二次医療圏について（案）

○本府の二次医療圏は、国が示す二次医療圏の設定要件を満たし、保健・医療・福祉の各分野において、整合性のとれたサービス提供が現在可能となっているため、現行の二次医療圏を前提とする。

○ただし、今後の人口構造、構成自治体、受療動向などの状況の変化を注視し、必要に応じて検証していく。

〈例〉二次医療圏の考え方

広域化

- 本府は医療機関へのアクセスが優れており、広域化でより効果的な医療機能の分化・連携が可能になる。
- 医療資源の偏在拡大、連携・協議の機動性低下の可能性がある。

細分化

- 関係する市町村数、関係機関が少なくなり、関係者全体の意見を踏まえた協議がし易くなる。
- 医療資源が限られることにより、医療機関の機能分化・連携が難しくなる。

表 二次医療圏の概況

二次医療圏	圏域構成市町村	人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
豊能	豊中市、池田市、吹田市、箕面市、豊能町、能勢町	1,029,975	276	3,737
三島	摂津市、茨木市、高槻市、島本町	748,497	213	3,506
北河内	枚方市、寝屋川市、守口市、門真市、大東市、四條畷市、交野市	1,169,572	177	6,595
中河内	東大阪市、八尾市、柏原市	846,049	129	6,567
南河内	松原市、羽曳野市、藤井寺市、富田林市、河内長野市、大阪狭山市、河南町、太子町、千早赤阪村	619,508	290	2,136
堺市	堺市	840,016	150	5,607
泉州	和泉市、泉大津市、高石市、岸和田市、貝塚市、泉佐野市、泉南市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町	910,744	445	2,048
大阪市	大阪市	2,686,246	225	11,928

図 二次医療圏の分布

